



# 西幼だより

羽島市立西部幼稚園  
令和7年6月16日 No. 6  
園長 安藤賢治

## いつもの食を考えた～PTA給食試食会～

■西部幼稚園の給食は、小中学校と同じ献立です。量が違うだけで、メニューや味付けは同じです。

・・・ということとは？

- 幼稚園の子のお口に合うの？（献立、味など）
- 栄養面を考えた工夫は？（参考にしたい）
- 自分たちの頃の給食と今とでは、どう違うの？
- そもそも我が子は、食べれているの？ ets

10日（火）

きんぴらごぼうはまひまひみえがあり、いわしの梅煮は骨ごと食べられるので、カルシウムを補い、骨や歯を丈夫にすることができます。

・・・試食会当日は、和食献立の日・・・

○ **いよいよ「給食の試食会」** \*その前に“教室で 配膳&食事の様子を参観”

\*お当番さんの動きは？ 待っている子は？ 先生の動き、声掛けは？



家庭での食事とは違う様子が  
見られて嬉しかったです。

給食当番の子が、上手に汁物  
なども運んでいて驚きました。

家では好き嫌いも多いのですが、みんなと一緒にだからか、結構食べていたので、おいしいんだなと実感しました。

先生方が一人一人に合わせて食べさせ方を工夫されているところがすごいいいと思いました。

○ **次は、自分たちの番です！** ~親世代に、今の給食はどう響いたでしょうか？~

\*PTA 家庭教育学級としての企画。臨機応変に協力して配膳する姿はさすがです。

興味津々、こどもたちが食した給食を味わっていただき、心通わす交流の場となりました。

○参加者のお宅では、夕飯時に給食の話題があったでしょうね。

給食の味付けを身近に感じる体験ができて、良かったです。

とても健康的でおいしかったです。きんぴらごぼうが意外とピリ辛だなと思ったけど、子ども達はおいしそうに食べていたので良かったです。

具沢山のお味噌汁が、ボリュームありで驚きました。きんぴらごぼうは、ピリッとしていて、大人でも少し辛く感じました。しっかり栄養を考えられた献立で、親として嬉しいです。

栄養バランスを考え、日々作ってくださる給食センターの方々に感謝したいです。

「いただきま〜す！」



バランスの良いメニューで味付けも濃すぎず、とても美味しかったです。彩りがもう少しキレイだと、もっとわくわくするのかなとも思いました。（きんぴらごぼうに人参など）



◆ 今後に・・・(ご意見)

家庭での様子も交流したかった。例えば、時短メニューとか、これなら食べますよなど、メニューの共有があったら、なお良かったかも。

### 〈幼児期の食育 7つの目標〉

<p>1 食事の時におなかがすくリズムができてきている子ども</p> <p>18時</p> <p>ママ「お腹すいた」「はんまだあつ」</p>	<p>2 食べ物を話題にできる子ども</p> <p>「このお野菜はトマトだよ」</p>
<p>3 上手に噛むことができる子ども</p> <p>もぐもぐ</p>	<p>4 食べたいもの、好きな物が徐々に増えている子ども</p> <p>あれも食べたい</p> <p>これも食べたい</p>
<p>5 年齢に合った食具が使える、マナーが身についている子ども</p> <p>お箸を上手に持てるよ</p>	<p>6 食事づくり、準備にかかわる子ども</p> <p>食べたらお片づけ!</p>
<p>7 親や周りの人と一緒に食べたいと思える子ども</p> <p>みんな一緒に食べよう</p>	

【ママごはん】VOL.60 より

## 〈幼児期の「食育」〉

◎「まず始めてほしいのは・・・  
**子供と一緒に楽しく食べること**  
 ＊食＝楽しいと感じられてこそ、  
 その先の食育がスムーズに進む。

- ▶ おなかがすくリズムがある
- ▶ 食べ物を話題にする
- ▶ 上手に噛む
- ▶ 食べたいもの、好きな物が徐々に増えていく
- ▶ 発達に合った食具が使える  
マナーが身につく

幼児期の食育の7つの目標は、楽しく食べることに繋がっています。この7つの姿を実現することで、楽しく食べる子どもになります。そして、楽しく食べるのが、子どもの知的教育(知育)・道徳教育(徳育)・身体教育(体育)の基礎になっているのです。

- ▶ 作る、準備(片付け)に関わる
- ▶ 親や周りの人と一緒に食べたいと思える

小川雄二先生

※これに、+α 加えてほしいのが・・・

「いただきます」

「ごちそうさまでした」

※まずは、親真似で、習慣として身につける。その後、意味あることだと知って納得してできるようになる→「食育」。



しんでくれた 谷川俊太郎

うし

しんでくれた ぼくのために  
 そいで はんぼーくになった  
 ありがとう うし

ほんとはね

ぶたも しんでくれている  
 にわとりも それから  
 いわしやさんまやさけやあさりや  
 いっぱい しんでくれている

ぼくは しんでやれない  
 だれもぼくをたべないから  
 それに もししんだら  
 おかあさんがなく  
 おとうさんがなく  
 おばあちゃんも いもうとも  
 だから ぼくはいきる  
 うしのぶん ぶたのぶん  
 しんでくれた いきものみんな  
 せんぶ